

神戸化成株式会社

1. わが社は食品添加物、食品素材を通して食品業界の発展に寄与し、お客様と喜びを共感できる会社を目指します。
1. わが社は社員の個性を伸ばし、活力ある生活を実現します。
1. わが社は自立した人間集団であり、現状に甘んじずチャレンジ精神旺盛に、私たちの仕事が社会に役立つ行動を実践します。



社 名：神戸化成株式会社
住 所：神戸市東灘区新在家南町4丁目4-15
役 職：常務取締役
氏 名：村川 武司
所 属：東神戸支部
同友会入会：2019年12月

■事業内容及び企業の沿革

創業42年の食用色素や甘味料などを製造する食品添加物メーカー。1978年に祖父が46歳で同業他社から独立した食品商社の村川商会がはじまりです。1987年から工場設備を持ち現在の製造メーカーにシフトしました。

■経営理念(経営指針)の成文化について

いつ頃・どのようなきっかけで作成しましたか

2003年父である社長 村川 勝氏が同友会入会直後の成文化セミナーにて作成。祖父の時代には経営計画はありましたが、経営理念は特にありませんでした。

作成後に社内発表しましたが、社内でも大きな変化は無かったと聞いています。そこで翌年に2泊3日の宿泊研修(かなりハード。毎日14時間)を行ったのですが、社員からの「仕事と研修がどう関係するのか?」「研修する時間に製造の方が良い」という強い反発があったそうです。実際に仮病で逃げ出す社員もおり、古参社員が何度も話をしてくれる当時の逸話です。

翌年は少しマイルドにして宿泊研修を継続することによって、一年に1回は宿泊研修があるのが当たり前の会社になりました。

社長からもこのタイミングが神戸化成にとっても大きな転換期であったと伺いました。

研修することで自然と経営理念が浸透し、経営指針書が中心にある組織になりました。

■経営理念について

経営理念への思い

特に大事にしているテーマは2つ目の「社員の個性を伸ばし、活力ある生活を実現します。」私もこの理念に共感し神戸化成に入社して良かったとまた自社の存在意義を感じます。この場所で能力を発揮して、自己成長することでより良い生活を支える“選ばれる会社”でありたいと思っています。

■これからの夢・抱負

指針書発表して10年以上経過していますが、私自身も2020年に指針勉強会に参加しました。

入社後に社員数が30名を超えたあたりからコミュニケーションギャップを感じており、経営指針書を再定義し強い組織にしたい。また同友会入会前から自己流で指針書作成に参画していたので本流を知りたいという思いからでした。勉強会での気づきは何度か挫折している10年ビジョンの必要性でした。ビジョンとはビジュアル化つまり可視化だと感じ、会社に戻ってから幹部と次世代の10名で“チームビジョン”を中心に何度も全社議論を交わしました。その中でメンバーと決めたのは「苦しくても本当に達成したいビジョンにしよう」ということと、メンバー自身が「後になってビジョンを批判することがない」ということでした。

わが社のビジョンは「社員一人ひとりの個性が放つ色生産機能を備えたお客様に選ばれる 一歩先ゆく食品商社へ」。

10年ビジョンはポスター作成し、全フロアに掲示しています。ここには私だけでなく社長の想いも含まれます。また全社員で合意形成した事が何もよりも価値があったと感じています。この定性的なビジョンと共に定量目標も記載しています。私は経営指針書を通してビジョンを実現させます。

